



影響をできるだけ小さくするための環境対策

環境への影響をできるだけ少なくする方策を講じていきます。
また、騒音測定や情報提供の充実などを行います。

■低騒音機の例

行財政改革
特別委員会資料
平成28年 8月 23日
都市環境部 環境課
都市計画課

- 低騒音機の使用促進
- 騒音測定や情報提供の充実
- 運用は、南風運用時（約4割）。
15時から19時（うち3時間を目処）。
- 将来の技術進歩に応じた影響軽減



■騒音測定局の例



放課後教育施設等への配慮

放課後教育等への配慮など、品川区内のうち
比較的影響の大きい地域へ重点的な配慮を行います。

- 経路付近の放課後教育施設や病院等の防音工事
- 比較的影響の大きい地域への重点的な配慮（コミュニティやまちづくりの面での支援の検討）



安全対策

安全確保は全てに優先します。安全管理の徹底を図ります。

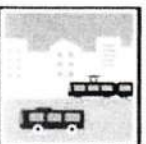
- 外国航空会社を含めた空港での抜き打ち監査、是正指導など
- 点検・整備の徹底、チェック体制の強化など落下物の未然防止策の強化



地域住民への丁寧な対応

2020年に向け、より多くの方々に知っていただけるよう、取り組んでいきます。

- 引き続きの丁寧な情報提供やコミュニケーション
- 不安払しょくのための市民相談窓口の設置、地域との連携体制の強化



空港の活力を地域に活かす取組み

空港と地域の共生・発展は重要であるため、空港の活力を
地域に生かせるよう、区と連携して取り組んでいきます。

- 訪日外国人旅行者の区内誘致など、空港の活力を地域に活かすための区政・地域と連携した取組み

平成28年8月9日
国土交通省航空局

羽田空港の機能強化に係る「環境影響等に配慮した方策」
品川区関連の配慮事項について

羽田空港の機能強化については、平成28年7月28日に、第4回首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会が開催されました。

同協議会では、国土交通省より、これまでの自治体要望や住民意見を踏まえ「環境影響等に配慮した方策」を示した上で、この方策で提示した環境・安全対策の更なる具体化や実施に向けた検討、引き続きの丁寧な情報提供、安全施設等の整備や環境対策に必要な予算措置を行うなど、国として平成32年までの羽田空港の機能強化の実現に向けた更なる対応を進めていくことを、参加自治体と確認したところです。

今後、これらの対応を進めていくにあたり、これまでの御要望を踏まえた品川区関連の配慮事項につきまして、以下のとおりご連絡申し上げます。

1. 環境対策

影響をできるだけ小さくするため、以下の配慮を行う。

(1) 低騒音機の使用促進

影響をできるだけ小さくする上では発生源対策が重要であるところ、羽田空港の国際線着陸料について、低騒音機の導入を促進するため、航空機の重量と騒音の要素を組み合わせた料金体系への見直しを行う。

(2) 騒音測定の実施

騒音測定局の配置やホームページの実施等を行い、新飛行経路の騒音影響に関する監視及び情報提供を行う。

(3) 運用、将来の技術進歩に応じた検討

運用は、南風時運用のみ(全体の約4割に相当)、さらに15時から19時のうち3時間を目標とする(開始から終了までの目安)。

また、将来の技術の進歩に応じ、更に取り得る方策がないか、今後も検討していく。

2. 放課後教育施設等への配慮

放課後教育等への配慮、区内でも比較的影響の大きい地域への対応につき、以下のとおり対応する。

2017年対象と変更あり(行政委員会、都市計画課長)

(1) 学校、病院等の防音工事

「公共飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律(いわゆる騒防法)」に基づく学校・病院等の防音工事について、運用方法の弾力化を行うことで、御要望のあった品川区内の経路付近の放課後教育施設や病院等に適用できるようにする(学校(放課後教育)、幼稚園(預かり保育)、保育所、病院、特別養護老人ホームなど)。また、併せて、防音工事の対象施設に、保育関係施設(小規模保育所等、病児保育施設、認可外保育施設)を追加する。なお、具体的な対象施設については、制度面の準備を進めつつ、区と連携して最終的な精査を行う。

(2) 区内でも比較的影響の大きい地域への配慮

法律で定める民間住宅の防音工事が必要となるような影響は区内において生じないが(今般提示した環境影響等に配慮した方策を講じることにより、その影響の範囲は一層小さくなる)、音の程度についての丁寧な情報提供を引き続き進めつつ、区内でも比較的影響の大きい地域において重点的な地元配慮が必要であるという観点から具体的な検討を行う(空港環境整備協会によるコミュニティ支援や、区のまちづくりの取り組みについて、どのような支援が可能か検討を行う)。

金銭?

3. 安全対策

安全確保は最重要の課題として、引き続き、以下に取り組む。

(1) 安全対策の徹底

外国航空機を含め、航空機の安全な運航を確保するため、空港での抜き打ち監査を実施し、航空会社への是正指導を行う等により、安全監督に引き続き万全を尽くす。また、乗り入れ航空会社に対し、安全対策の徹底を改めて要請する。

(2) 落下物対策の強化

航空会社に対して、点検・整備の徹底を指導する、国の職員によるチェック体制を強化する等、引き続き未然防止に万全を尽くす。

4. 住民への丁寧な対応

平成32年に向け、より多くの方々のご理解を頂けるよう、以下に取り組む。

(1) 引き続きの情報提供

より多くの方々を知っていただけるよう、品川区の協力を得つつ、丁寧な情報提供やコミュニケーションに引き続き取り組む。その中では、住民の方々の声に引き続き耳を傾けつつ、飛行映像やデータなど活用し、分かりやすい対応に努める。また、空港に親しみをもってもらえるよう

う、引き続き、区のイベントなどへの出展を行う。

(2) 市民相談窓口の設置、地域調整の体制強化

不安払拭のため、区民の方々の疑問や相談に直接対応できる相談窓口の設置に向け、準備を進める。また、区との日常の調整・連絡のための体制についても強化を図る。

5. 空港の活力を地域に活かす取組み

空港と地域の共生・発展は重要であるため、前述の方策を講じつつ、空港の活力を地域に活かすための取組みを地域と連携して進める。

具体的には、羽田空港の国際線増便に伴う経済効果、訪日外国人旅行者の増加効果などを念頭におきつつ、訪日外国人旅行者の区内誘致など、区政や地域のまちづくりの取組みを多面的に支援する。区の御要望についても真摯に受け止め、それぞれ対応を行う。

金銭